

ゴトとは？ゴト師とは？それを理解している ホールは殆ど無い、それが現状だ！

前回は「利益を上げるのは新台を入れ替えるだけではない。ゴトによる被害も目の前の被害金額に留まらないと解説した。今回からはゴトとは何かをもう一度整理し、ゴト師への対応までを深く追求してみたい。

今回の話に入ってもらいたい。
「トントんぽ〜」

前回、講習会で行ったホールに於けるメリットを、「本人からの目線」お客様からの目線「経営者からの目線」と分けて考える事について説明した。

そして、従業員のレベルが高いという意味は、接客レベルが高ければ良いというレスポンス的な考えではなく、遊技台の知識はもちろん、不正に対する知識を全て高いレベルで持ち合わせなければならぬ、とも解説をした。もしも読まれていない方が居たらば、ぜひバックナンバーを引っ張りだし、読んでから今

「講習会で」ゴトってなんでですか？との私の問いに対し、スラスラと答えが出てくる人はまずいない。せいぜい出てくる言葉は「電波やショートなどです」がやっとならう。もちろん、これはこれで不正解ではない。かといって正解というわけでもない。

私の質問はゴトの種類を聞いているわけではない。「ゴトってなに？」と聞いているのだ。

取りあえずゴトの種類を片

- ①電波 ②ショート ③磁石
 - ④裏口ム ⑤ぶら下がり ⑥釘曲げ ⑦大玉 ⑧ど突き⑨水 ⑩油 ⑪釘曲げ ⑫電流
 - ⑬持ち込み ⑭設定漏洩 さ
- 少ないと思うのか。あなたはいかがかな？
- 「今の主流」と言う軽い言葉は好きではないが、敢えて言えば①と②である。③〜⑧も少ないが現在進行形に含んでも良いだろう。
- ⑨〜⑭は過去形であるが、個人的にはどこかでこのゴト

も触れてみたいと思っっている。(注：1)

さて⑬と⑭がゴトと言えるかどうか微妙ではあるが、ホールに害をもたらす弊社に相談が有ることからすると、ゴトの分類に入れても良いと私は思っている。おっと！という事は・・・!?

パチンコ店における「ゴト」とは、「ホールに害をもたらす事」と定義付け出来るのだ。「ではギャンブルもゴトですか？」

「ガク！」(私の膝が折れる音)これは害をもたらすと云って、もちろんゴトではない。こんな愚問をする本誌の読者

はいないだろうから説明は省くとする。

注：1 「過去を知れば現在が分かる、現在が分かれば未来が分かる」似た言葉が有るかもしれないが、これは私が創作した言葉である。「現在は突然、現在になつたわけではなく、過去の積み重ねが「現在のなのだ」と、自分的には、大変哲学的な意味を込めたと思っっている。

過去にはどこかのセキュリティ講師を名乗る人が、この言葉を丸バクリして使っていたのには驚いたものだが。

弊社のHPには過去ログもそのまま残してある。これは「過去を知れば」を私なりに実践しているからだ。さらには、新たに会員になられた方が「昔分からなかったゴトは実はこういう事だったのか」「あのとき分かっていたらば…」と理解をしてもらいたいのが為でもある。

「ゴト師とは？」

ゴト師という意味は「しごと師から来ている」等の俗説をここで言う気はない。

大体にして、今頃のゴト師というものは「犯罪を犯して

いる」と言う認識を持つているのだろうか。

もちろん、密航船に乗って日本にやって来て、命をかけて、いや相手の命を奪ってでも金を稼ぐという輩もいるだろう。恐ろしい集団だ。しかし、現状ではそういう輩だけではない。

大学生のゴト師達...

最近捕まえたゴト師はフリーター等の若年層が多く、中には大学生等も混じっている。その大学には7つのパチンコ

同好会が有り、その全ての同好会が「裏口ム」を所持している。そのわけを聞くと、笑いながら「だって簡単に稼げるでしょ」だった。

つまり「全く悪い事だと思っっていない」という事だ。まるでゲーム感覚の様にゴトをやリ、PCの中では味わえない、チョットしたりリアルなスリルを楽しみながら小遣いを稼いでいる、と言っただけなのだ。

主婦のゴト師達...

また、北関東のあるグループでは、打ち子は全て主婦で

構成されていた事がある。親玉の店長を捕まえ、このオバちゃん達に話を聞いても、「毎朝電話があつてね、今日はどこそここの〇〇店の〇〇台に行つてくれ、って言うの。そこで言われた通りの打ち方をするとお金をもらえるのよ。私なんか1つしか打ち方を覚えられないから、大工の〇さん専門だったけど、アハハハ...」これまた、「全く悪い事だと思っっていない」のだ。

常連のゴト師...

西日本のホール様では、講習会を終えた翌日、担当の課長から電話をもらった。「中野社長、昨日は大変お世話になりました」「いえいえ、こちらこそお世話になりました。皆さん熱心に勉強されていたので、今後はより不正撲滅が期待出来ますよ」

昨日のお礼だと思っって返答をした。

「それが実は早速ゴト師を捕まえたんですよ」

課長の声が一オクターブ高くなった。

「えっそれは凄い！ いったいどんなゴト師だったのです

か？」

そんな事を予想していなかった私も、課長につられるかの様に一オクターブ高い声で驚いた。私は昨日の講習会で、「理屈で考えるな、自分の感覚を信じて。おや？」と思っただけのまま見張れ、見張つて様子がおかしければ直ぐに上職者に報告をしろ」と、受講生に教えた。その中に勤続三年の彼女がいた。

彼女は本日の勤務中、いつもの常連さんに「いらっしやいます」と、いつも通りに挨拶をした。しかし、何か分からない違和感を感じた。そして彼女は私の教え通り、鳥影からその常連を見張った。そうすると、昨日の講習会で自分自身も体験した「レバーを叩いている振りをしただけでリールが回った」のを見たのだ。

「あ！ 体感器を使っている！」

直ぐに店長に報告。店長はモニターで確認すると所轄へ連絡をした。そして現行犯逮捕に至ったとの事だった。

なんとそのゴト師、約20年も通っている常連だった。しかも年は70を過ぎていた。この事件は県警から弊社に鑑定依頼が持ち込まれ、私が鑑定書を書いた。送られて来た依頼書には、小柄なお爺ちゃんがパンツ一枚で体感器を装着した写真が添えられていた。「この年でブタ箱行きか...」

チョット切ない気持ちにはさせられたが、温情等かけていられない。

ゴト師に良い奴も悪い奴もない。単に「ホールに害をもたらすだけの人間」ただ、それだけなのだ。

紙面の関係で今回はここまで。次回は書ききれなかった「ゴト師が来た時どうするのか」を中心に説明する。



illustration : t.tsukamoto



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などでの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつつ、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971